

天皇皇后両陛下のお手植え・お手播き樹種候補(参考)

※第1回大会(山梨県)から第44回大会(沖縄県)までは、概ねスギ、マツ、ヒノキを含め1~3種程度

※第45回大会からは2巡目となり、傾向としては、広葉樹を主体に、お手植え6種類、お手播き4種類の10種類程度(高木・長寿種)

※皇后陛下には花や実、紅葉が美しい樹種を選定する傾向がある

区分	天皇陛下			区分	皇后陛下				
	樹種	選定理由	備考		樹種	選定理由	備考		
主要造林樹種(建築用材)	針葉樹	アテ(常緑高木)	分布:本州、四国、九州(本県では能登を中心に植栽) 適地:肥沃な適潤地 用途:優良建築、器具 特徴:極陰樹で乾燥に弱い その他:本県の県木(S41認定)、輪島塗の木地として利用	県の木 輪島市の木 穴水町の木	海岸林に相応しい樹種	針葉樹	抵抗性クロマツ(常緑高木)	分布:北海道南部、本州、四国、九州、沖縄 適地:乾燥地 用途:建築、器具、パルプ 特徴:耐乾性、耐潮性があり加賀から能登にいたる沿海地域に分布 その他:本県では、海岸の防風、砂防林として、江戸時代から植栽が行われている	羽咋市の木(クロマツ) 小松市の木(マツ) 津幡町の木(マツ)
		スギ(常緑高木)	分布:本州、四国、九州(県内全域で植栽) 適地:肥沃な湿潤地 用途:優良建築 特徴:陽樹で耐陰性が弱い その他:県内人工林の6割を占める主要造林樹種			広葉樹	タブノキ(常緑高木)	分布:本州、四国、九州、沖縄 適地:肥沃な適潤地 用途:家具、器具 特徴:耐陰性、耐潮性、耐風性に優れ海岸近くの防風・防潮樹に適する その他:樹皮は粉末にし線香に混ぜる	
		ヒノキ(常緑高木)	分布:福島県以南、四国、九州 適地:痩せた適潤地 用途:優良建築、器具 特徴:陽樹であるが耐陰性有り、耐潮性・耐煙性有り その他:全国的には、スギに次ぐ主要造林樹種			広葉樹	スダジイ(常緑高木)	分布:本州(福島、新潟以南)、四国、九州、沖縄、済州島 適地:肥沃地 用途:公園の風致樹、庭園の防火樹 特徴:加賀から能登にかけての沿海部に近い山腹斜面に自生 その他:果実は食用。旧県庁前の堂形のシイノキは国天然記念物	
		抵抗性アカマツ(常緑高木)	分布:本州、四国、九州 適地:日の当たる乾燥した痩せ地 用途:建築、器具、楽器 特徴:陽樹でマツタケとの共生関係 その他:公園、庭園の主木。本県ではH22年春から抵抗性アカマツを出荷	羽咋市の木(クロマツ) 小松市の木(マツ) 津幡町の木(マツ)		広葉樹	エノキ(落葉高木)	分布:本州、四国、九州、朝鮮半島、中国北部 適地:やや陽性の適湿地 用途:建築材、器具材 特徴:海岸に沿った砂丘後背地や風衝地の200m以下に分布 その他:海岸防風林として植える樹種の1種。野鳥の食餌木に適する	
	広葉樹	ケヤキ(落葉高木)	分布:本州、四国、九州、朝鮮半島、中国 適地:肥沃な深層土壌 用途:建築、器具、楽器、船舶 特徴:陽樹であるが稚幼樹は、樹陰下でも育つ その他:本県で、玉杓がでるえびすケヤキを培養し、H14年から出荷	川北町の木		広葉樹	カシワ(落葉高木)	分布:北海道、本州、四国、九州 適地:肥沃な深層土 用途:葉でもち菓子を含む 特徴:加賀地方の海岸付近の山林や羽咋郡以北の外浦の海岸地帯に自生 その他:樹皮が厚く山火事でも生き残る	
有用広葉樹	広葉樹	クヌギ(落葉高木)	分布:本州、四国、九州 適地:肥沃地 用途:器具、楢木、薪炭(菊炭) 特徴:コナラ属の中で最大のドングリ その他:里山一円に分布する天然林(二次林)		公園に相応しい樹種(花や実、紅葉が美しい)	広葉樹	トチノキ(落葉高木)	分布:北海道、本州、四国、九州 適地:適潤で肥沃な深層土 用途:建築、器具 特徴:耐煙性があり、街路樹に使われる。標高100から2,000mに分布 その他:果実は、トチモチに利用 5月下旬~6月にかけて15~25cmの白い円錐花序を多数直立させる	
		コナラ(落葉高木)	分布:日本全土、朝鮮半島 適地:日当たりの良い肥沃地 用途:家具、器具、楢木、薪炭 特徴:県内全域の標高800m以下に分布 その他:里山一円に分布する天然林(二次林)			広葉樹	ヤマボウシ(落葉高木)	分布:本州、四国、九州、朝鮮半島、中国 適地:適湿地 用途:器具 特徴:紅葉や果実が美しく庭園樹や公園樹として利用。また施設等の修景木としても利用。 その他:鳥の食餌木に適する	
		ホオノキ(落葉高木)	分布:日本全土、南千島、中国中部 適地:適潤で肥沃な深層土 用途:建築、器具、楽器 特徴:陽樹で、県内の里山から奥山まで広く分布 その他:輪島塗の木地としても使われ、葉は、料理に使われ樹皮は薬用			広葉樹	ヤマザクラ(落葉高木)	分布:本州(宮城、新潟以南)、四国、九州、朝鮮半島南部 適地:日当たりがよい肥沃地 用途:建築、器具 樹皮は樺細工 特徴:4月に新葉とともに淡紅色の花を多数付ける その他:鳥の食餌木に適する	かほく市の木 中能登町の木 宝達志水町の花 ※どれもサクラ
		ブナ(落葉高木)	分布:北海道南西部、本州、四国、九州 適地:適潤な肥沃地 用途:器具、家具、パルプ 特徴:舳倉島、七ツ島以外の標高20mから1,600mに生育 その他:葉の新緑や木肌が美しい			広葉樹	ヤマモミジ(落葉高木)	分布:本州の日本海側、青森県から石川県、福井県に分布 適地:肥沃な深層土壌 用途:建築、器具、楽器 特徴:紅葉が美しく、公園、緑化、庭園樹として利用 その他:加賀地方の奥山地帯に分布が多い	
		クリ(落葉高木)	分布:北海道西南部、本州、四国、九州 適地:適潤な肥沃地 用途:建築、家具、船舶、楢木 特徴:材は湿気に強いため、家屋の土台や浴室材として利用 その他:果実は食用で、縄文時代から食べられていた			広葉樹	ケンロクエンキクザクラ(落葉高木)	兼六園千歳台に原木があるキクザクラの1品種で、昭和3年に新品種として認められた。 4月下旬から花卉が300枚もある4cm前後の大輪の花を咲かす	かほく市の木 中能登町の木 宝達志水町の花 ※どれもサクラ

参加者記念植樹樹種候補(参考)

	樹種	選定理由		樹種	選定理由		樹種	選定理由		樹種	選定理由
木場湯公園周辺	針葉樹 抵抗性クロマツ (常緑高木)	・県内の海岸防災林主要樹種 ☆本県では日本海側で初めて平成22年春から抵抗性クロマツを出荷	憩いの森	針葉樹 ヒノキ (常緑高木)	・県内一円で植樹 ・建築用材として最高品質	憩いの森	(常緑低木) 広葉樹 マサキ (常緑低木)	・海岸近くの樹林又は山地に生育 ・野鳥の食餌木	憩いの森	広葉樹(常緑低木) トチノキ (落葉高木)	・国指定の天然記念物がある ・実はトチモチとして利用 ・5月下旬～6月にかけ小花を多数着生 ・器具材
	広葉樹(常緑低木) のとキリシマツツジ (常緑低木)	・古くから能登半島で植栽されてきた ・開花は4月下旬～5月上旬 ・県指定の天然記念物がある ・能登町の花		針葉樹 抵抗性アカマツ (常緑高木)	・県内一円で植樹 ・建築用材(梁・桁) ・マツタケと共生関係 ☆本県ではH22春から抵抗性アカマツを出荷		ケヤキ (落葉高木)	・県内一円で天然木が存在 ・高級建築用材		広葉樹(落葉高木) ヤマボウシ (落葉高木)	・紅葉や果実が美しく、庭園樹、公園樹として利用 ・5～7月に花をつける ・果実は食用 ・器具材
	広葉樹(常緑低木) ヒサカキ (常緑低木)	・県内に広く分布するが、標高1,000m以上は生育しない ・野鳥の食餌木に適する		広葉樹(常緑高木) ウラジロガシ (常緑高木)	・県指定の天然記念物がある ・建築材、器具材		クヌギ (落葉高木)	・県内の里山一円に分布する天然林(二次林) ・木炭(菊炭)、椎茸原木 ・器具材として利用		広葉樹(落葉高木) ヤマモミジ (落葉高木)	・加賀地方の奥山に多く分布 ・和風庭園の灯障り、石付き、池の端などの添景に使用
	広葉樹(常緑低木) ヤマツツジ (常緑低木)	・県内の山地のほとんどの箇所で見られる ・開花は4～5月 ・津幡町の花(ツツジ)		広葉樹(常緑高木) タブノキ (常緑高木)	・国・県指定の天然記念物が多数ある ・5～6月に枝先に黄緑色の小花を多数着生 ・家具材、パルプ材		コナラ (落葉高木)	・県内の里山一円に分布する天然林(二次林) ・木炭、椎茸原木		広葉樹(落葉高木) ウワミズザクラ (落葉高木)	・県内に広く分布する ・4～5月に花が咲く ・かほく市、中能登町の木(サクラ) ・宝達志水町の花(サクラ)
	広葉樹(落葉高木) ヤマザクラ (落葉高木)	・国指定の天然記念物がある ・4月上旬に開花 ・高級家具の材料 ・かほく市、中能登町の木(サクラ) ・宝達志水町の花(サクラ)		広葉樹(常緑高木) スダジイ (常緑高木)	・国・県指定の天然記念物が多数ある ・木炭、椎茸の原木 ・実は食用		ホオノキ (落葉高木)	・輪島塗の木地、器具材、建築材 ・葉は料理に使われる		憩いの森 広葉樹(落葉高木) ナツツバキ (落葉高木)	・中能登・奥能登では生育しない ・6月頃大型の白色花を咲かす ・公園樹、床柱 ・野々市市の木・花(ツバキ)
	広葉樹(落葉高木) ケンロクエンキクザクラ (落葉高木)	・日本三大名園である「兼六園」に原木があった ・本県ゆかりの品種		広葉樹(常緑高木) ヤブツバキ (常緑高木)	・生け垣や防風林 ・3～5月頃大型の花を開く ・野々市市の木・花(ツバキ)		ブナ (落葉高木)	・白山のみでなく能登地区にもブナの原生林あり ・家具材、建築材として利用		憩いの森 広葉樹(落葉高木) エゴノキ (落葉高木)	・ほとんどの山地で見られる ・5～6月に白い花が下向きに咲く ・玩具、杖
	広葉樹(落葉低木) レンゲツツジ (落葉低木)	・庭木としてよく利用されている ・開花は5～6月 ・津幡町の花(ツツジ)		広葉樹(常緑高木) モチノキ (常緑高木)	・志賀町、中能登町の木 ・公園樹、庭園樹、街路樹として利用範囲は広い ・野鳥の食餌木に適する		クリ (落葉高木)	・実がなり、縄文時代から食用 ・木造家屋の土台、浴室用材として利用		憩いの森 広葉樹(落葉高木) タムシバ (落葉高木)	・県内全域で見受けられるが、加賀地域や手取川流域の山間部に広く分布 ・3～4月に大型の白い花を着生する
	広葉樹(落葉低木) ムラサキシキブ (落葉低木)	・花や実が美しく、観賞用として利用 ・6～7月に小花を多数つける		広葉樹(常緑高木) ソヨゴ (常緑高木)	・中能登から奥能登の南部にかけて生育 ・野鳥の食餌木		ミズナラ (落葉高木)	・椎茸、木炭の原木 ・建築、器具材		広葉樹(落葉低木) マユミ (落葉低木)	・海岸から内陸部の山地にわたって生育 ・5～6月に緑白色の小花をつけ、秋に朱赤色の種子を露出する ・野鳥の食餌木
憩いの森	針葉樹 アテ (常緑高木)	・県木(S41認定) ・能登を中心に植樹 ・輪島塗の木地、建築材、建具材 ・輪島市・穴水町の木	広葉樹(常緑高木) シロタモ (常緑高木)	・標高300m以下で県内全域に分布 ・かつては県内でも種子の油からろうそく用の蠟を採った	エノキ (落葉高木)	・県内の海岸沿いの砂丘後背地や風衝地によくある ・建築、器具、家具	広葉樹(落葉低木) ヒュウガミズキ (落葉低木)	・日本海側のみに分布し、石川県が北限 ・4月に黄色の花を咲かせる			
	針葉樹 スギ (常緑高木)	・県内人工林の6割を占める主要造林樹種 ・県内一円で植栽 ・建築用材(柱・造作)	広葉樹(常緑低木) ヒメアオキ (常緑低木)	・庭木や公園の植え込み・縁取り等に使用 ・野鳥の食餌木	カンワ (落葉高木)	・県内の海岸地帯に多くある ・木炭や椎茸の原木	広葉樹(落葉低木) オオバクロモジ (落葉低木)	・県内全域に分布 ・公園や庭園の植え込みや野鳥の食餌木として適当			